

¡VIVA MÉXICO! 1月

日墨戦略的グローバルパートナーシップ 広島大学総合科学部 田代涼

¡Feliz Año Nuevo!

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します！



12月31日、私は友達と一緒にカウントダウンをしにメキシコシティの中心地へ向かいました。私は一日中ソワソワしていました。なぜでしょう。答えは簡単です。メキシコ人の友達が時間通りに約束の場所に来て、カウントダウンに間に合うか不安だったからです。笑 余談ですがメキシコ人と待ち合わせる時は、少し早めに時間設定をすることが必要です。というのも、「パーティーが5時からある

から来てね」といわれたら、日本人なら5時ちょっと前に到着するのが普通かもしれません。しかし、メキシコでそれをするとまだパーティーは始まっていません。6時くらいから人が集まり始めて、おそらく全員揃うのは8時頃。パーティーが盛り上がり始めるのは9時頃。時間使いが大胆な国です。最近はその時間に慣れてしまっているので、日本に帰って順応できるか心配です。あ、そうでした。年明けですが、実はカウントダウンのタイミングを少し逃してしまい、「え、もうあけたん」とあっけなく終わってしまいました。ほんの少し雰囲気味わえたくらいです。年があけた瞬間、いつも通り、みんな踊り始めました。わたしも友達と一緒に踊りました。この底抜けに明るい国民性は日本に帰ったら恋しくなりそうです。あるメキシコ在住の女の子が新年お家に招待してくれて、お雑煮をご馳走してくれました。日本のお正月気分をほっこりとした気分で過ごしました。



日本の家族が心から恋しくなって、メキシコに来て始めてテレビ電話で話しました。テクノロジー様様です。もし電話やインターネットがない地域だったらと思うと、生きていけるのかなと思います。案外適応できたりするのもかもしれませんね。人間やってみないとわからない。

Viaje a Oaxaca y Puebla

ずっと行きたかったオアハカにやっと行けました。いつ行こういつ行こうとソワソワしていましたが、ギリギリまで粘って今回の長期間休暇の間にいって来ました。オアハカはメキシコシティより南のほうにあり、比較的温暖な気候でした。ただ夜はかなり冷えました。なぜここに旅行したかったかという、まずメキシコに来た留学生のおよそ8割は（田代の調査による）オアハカに旅行に行っていて、みんな「す

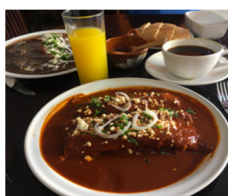


ごく素敵な場所」と豪語していたからです。そこまで言われたら行くしかないでしょう？実際に行ってみて確かに綺麗な街でした。1日目はオアハカに行くついでにプエブラという都市に寄りました。

このプエブラ行きのバスにて事件がありました。というのも一緒に行っていたメキシコ人が寝坊をし、寝坊はして間に合わないかわかっていながらもしっかり朝食をとり、10分遅れでバスターミナルに着きました。あーあ、もう次の便を買うしかないと落ち込んでいたところ、バスのおじさんが次の便のチケットを無料で手配してくれました。日頃の行いがあまりにも良かったのでしょう。プエブラの中心地には歩いた先には教会、振り向いた先にも教会があり、教会を巡る観光客も多いそうです。残念なことに全部を見る時間がなかったのですが、その代わりに一日中街を歩き回りました。おそらく15キロ歩きました。足がパンパンになりながらも必死に足を進めました。そしてオアハカ行きのバスは夜中の12時発。私たちはバスターミナルで4



時間ほど時間を潰さざるを得ませんでした。メキシコのバスターミナルは意外にも充実していて、シャワーや軽食コーナー、24



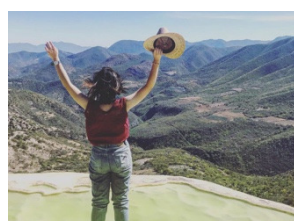
時間営業のコンビニ、WiFiもあり、あっという間に時間が過ぎました。次の日の5時にオアハカに着き、くたくたな私たちは近くのカフェで美味しい朝ごはんを食べました。オアハカはメスカルというお酒と食べ物があります。今回の旅行で食べたご飯は全部おいしかったです。これらはオアハカで食べた中でおいしかった料理3つです。まだ味が忘れられません。

左 エンチラーダオアハカ風

中 鶏肉のモレネグロ煮

右 トウラユーダ（メキシコ風ピザ）

観光地でもあるオアハカでは、町中にバスツアーの客引きがいます。およそ三千円でオアハカの観光名所を巡ることができるツアーがそこらじゅうにあります。ツアーを使うもよし、個



人でチャレンジするのも面白いかもしれません。シティと違いメトロがないので移動は少し大変ですが、新たな土地を知るにはその土地の生活にどっぷりと浸かるのが面白いですね。メキシコシティに帰って、メトロバスとメトロへの愛着が止まりませんでした。いつもはあんなに恨んでいるのに…。

次はどこに行けるかなあ。